

特定非営利活動法人 パレスチナ子どものキャンペーン 田中好子事務局長に聞く

# 継続した関心を

10月7日、パレスチナ自治区ガザを実効支配するイスラム組織ハマスが、イスラエルに越境攻撃、報復としてイスラエルが軍事行動を開始した。戦争状態になって2カ月以上が経過した。11月末、ハマスの人質の解放とイスラエル軍による攻撃の停止があったものの、ガザへの攻撃は救急車や病院にも及び、ガザ地区の保健当局によれば、ガザ地区の死者数は1万人超と発表された。

イスラエルとガザの戦争はたびたび繰り返されており、今回の戦争がどのような状況で起こったのか、ガザの人々がどのような中で生きているのか、特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーンの田中好子事務局長に話を聞いた。



たなか よしこ  
特定非営利活動法人パレスチナ子どものキャンペーン事務局長。1986年の同キャンペーン設立に参加。パレスチナやレバノンの難民キャンプで、子どもの教育、保健、人権に関わる支援事業をコーディネート。国連パレスチナ問題NGO国際調整委員会委員、同アジア地域調整委員会委員を歴任。パレスチナのNGOはもとよりイスラエルの平和団体や各国のNGOとの関係が深い。同キャンペーンは1996年に東京弁護士会人権賞を受ける。翻訳書「イスラエル兵役拒否者からの手紙」(NHK出版)。

## 10倍の規模の惨状

遑って、ガザでは実際どういことが起きていくのかという問いを皆々

んと考えたい。ガザでは1990年代、2000年代にもイスラエル軍による迫害があったが、2007年から軍事封鎖され、200

8年からの15年間で4回戦争が起こっている。今回5回目の戦争だ。2008年以降の直近の戦争でも1000人以上の死傷者を出してきた。家族を亡くし家を無くした子どもたちも、支援を受けながら何とか学校に行ったり、普通の生活を取り戻せるよう頑張ってきたが、こういう子どもたちの安否も不明である。というのも今回の戦争はすでに1カ月で1万人の犠牲者が出ており、これまでの10倍の規模で惨状が起きているからだ。

## 手や足に名前を

ガザの北部にあるジャバリア難民キャンプは3週間ほど前、非常に大規模な爆撃を受けた。多くの人が亡くなった。私たちと共に支援活動をしている現地スタッフが送ってきてくれているメッセージによれば、ガザでは市民が手や足に自分の名前を書いているという。遺体になったときに身元が分かるよう、名前を書いているのだ。こういう話が出てきたのが11月はじめごろ。ただ、最近の報道では身元

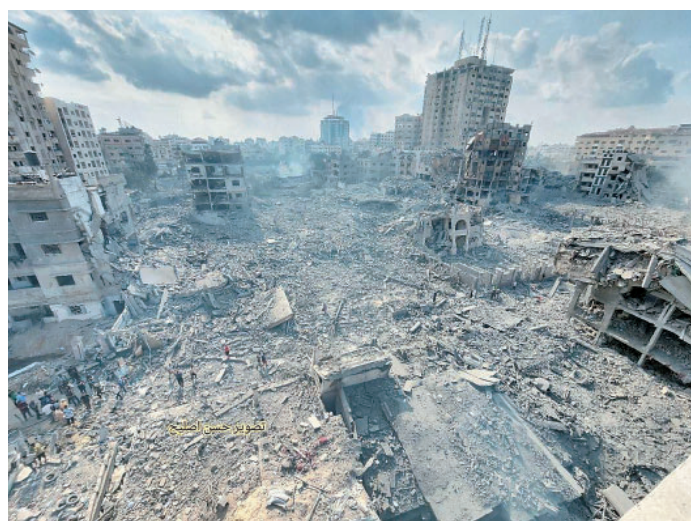
不明のまま埋葬されているというニュースもあった。

## 助けられない赤ちゃん

北部から南に人が逃れてきている。ワディ・ガザという枯れ川のごとくに、イスラエル軍が検問所を設けていて、そこを歩いて行かなければならない。乗り物での移動は許されず、子どもでもお年寄りでも病人でも徒歩で進まなければならぬ。そしてそこを通る時、人はホールドアップと言って、手を上げていないと銃で撃たれる。そのワディ・ガザの周りには銃で撃たれたたくさん遺体が散らばっている。

## オリエント急行の駅もあつたガザ

みなさんには、本来のガザがどんなところであったのかも知ってほしい。難民キャンプや逃げまどう戦場というイメージがあるかもしれない。でも、ガザは、昔は畑や果樹園もあり自然豊かなところだった。地中海に面した場所で、レバノンやエジプトなどと船で交易もしていた。赤ちゃんは生きていた。赤ちゃんは生きていた。赤ちゃんは生きていた。



## 継続した関心を

た。誰もが聞いたことがあるだろう「オリエント急行」は、1967年の戦争まではエジプトの都市アレクサンドリアまで通じていてガザにも駅があった。こういう普通の人の生活の場が戦場になっていくというのを知ってほしい。市民社会があったところだということを知らせてほしい。

ガザは、もともとが押し込められた狭い土地だが、イスラエル側と仕切られる2重のフェンスがあり、そこから無人の「バッファゾーン」が作られていて人間が近寄ると撃たれるエリアが広がっている。フェンスから600km〜1kmくらいは

市民公開講座

川口真由美さん  
辺野古を語り、反戦を歌う

玉本英子さん  
ウクライナ取材して

## 沖縄・ウクライナ 2つの現場から 平和を紡ぐ

政府与党は大軍拡に邁進しています。敵基地攻撃能力の保有や基地強化路線は周辺国を威嚇し脅威を与えます。

今回、医師・歯科九条の会は共に平和のために取り組んできたシンガーソングライター・川口真由美さんと、中東・ウクライナ取材した玉本英子さんを招き、歌と講演の市民公開講座を開催します。戦争のリアルとは何なのか。平和のために何を指すべきか。ぜひたくさんの方にお越しください。詳細7面参照) (詳細7面参照)

2024年1月14日(日) 14:00~16:00

M&Dホール

事前申込制 定員70人 参加費無料

プログラム  
14:00 開演  
14:10 川口真由美さん 音楽編-辺野古を語り  
14:50 玉本英子さん ウクライナ取材報告  
16:00 閉会

おおさか医科・歯科九条の会

ご参加ください

おおさか医科・歯科九条の会 市民公開講座

## 沖縄・ウクライナ 2つの現場から

川口真由美さん、玉本英子さん

政府与党は大軍拡に邁進しています。敵基地攻撃能力の保有や基地強化路線は周辺国を威嚇し脅威を与えます。

今回、医師・歯科九条の会は共に平和のために取り組んできたシンガーソングライター・川口真由美さんと、中東・ウクライナ取材した玉本英子さんを招き、歌と講演の市民公開講座を開催します。戦争のリアルとは何なのか。平和のために何を指すべきか。ぜひたくさんの方にお越しください。詳細7面参照) (詳細7面参照)

子どもたちに平和と未来を 特定非営利活動法人(認定NPO法人)

## パレスチナ子どものキャンペーン

パレスチナ子どものキャンペーンの活動

\*募金はコチラ\*

今すぐ寄付 支援する

\*ガザの状況\*

最新情報  
ガザ速報 #46  
-即時停戦と人質解放を-